藤岡市 議会だより

◆発行日　平成19年５月15日　◆発行　藤岡市議会　◆編集　藤岡市議会だより編集委員会　◆印刷　有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ　http://www.city.fujioka.gunma.jp/
第38号

平成19年春の竹沼

３月定例会のあらまし

定例会は、２月28日から３月16日までの17日間の会期で開催されました。

平成19年度藤岡市一般会計予算について56議案、議員提出議案４件が提出されました。

◇28日＝本会議　会期の決定。議案52件を上程、うち35議案を即決。

◇１日＝経済建設常任委員会。

◇２日＝教務厚生常任委員会。

◇12・14日＝本会議　一般質問。

◇16日＝本会議　委員会付託議案17件を可決。

市長提出議案４件、議員提出議案４件を即決。

一般質問

子育て支援について

湯井廣志

問 今の父兄の要望は、幼稚園でも子どもを夕方まで預かってほしい。また保育園でも小学校入学前の教育を充実してほしい等々、様々な要望があり、今後、新たな認定子ども園が始まっても、さらに要望は多様化すると思う。十分な準備もなしに長時間保育をしますということでは、子どもが不幸になってしまいます。将来を見据えた幼稚園教諭と保育園保育士の両方の資格者の採用や施設の整備など、行政は積極的に助成や指導をすべきであると考えますが、このような計画対応はあるのか伺います。

答 藤岡市の時代を担う子ども達をしっかり育てていけるように、できるだけの援助をしていきたいと考えています。

問 「子どもを育てるなら藤岡市」を全国にアピールし、国を動かすぐらいの子育て支援を藤岡市ですべきである。今の幼稚園児の父兄の負担を軽減すべきであると考えますが、市長は真剣に子育て支援に取組んでいるのか。また、今後設置される子育て支援センターは幼稚園ですべきと考えるが伺います。

答 幼稚園の預かり保育には、藤岡市では補助していませんが、制度の移行を勧めていきたい。また幼稚園での子育て支援センターも検討します。

集中改革プランについて

問 藤岡市は、まだ北海道の夕張市のようにはなっていないが、約467億8000万円もの債務を抱え、財政危機宣言が発令され、市民にも夕張市並みの痛みを伴う改革が、まさに実行されようとしている。夕張市のようにならないためにも、総務省が示した公認会計士らによる外部監査や公営企業・第三セクターなどを含めた負債の割合を表す将来負担比率などの4つの指標を市民に示すべきであると考えるが伺います。

答 議員ご指摘の公認会計士による外部監査制度や新たな財政指標の公表については、国の動向に注意し、速やかに新しい地方公共団体の再生法制の制度を導入し、情報開示の徹底を図っていきたいと考えています。

入札について

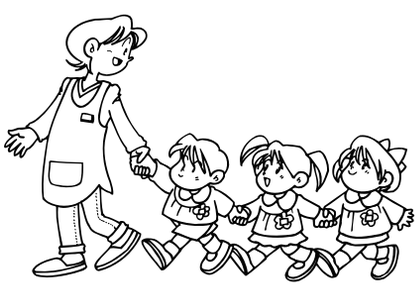
木村喜徳

問 一般競争入札の導入について伺います。

答 平成19年度の早い段階から条件つき一般競争入札の実施を考えています。導入に際して、当面は設計金額おおむね2000万円から3000万円以上の案件を対象に限定し、試行的に実施していきます。

人口増加策について

問 人口増加実現のために具体的な施策を考えているのか伺います。



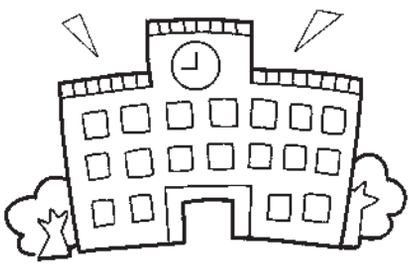
答 住環境としては、公営住宅の建設、インフラの整備としては、都市計画道路の2本です。また、福祉関係では、不妊治療費補助金を平成19年度予算に計上しております。

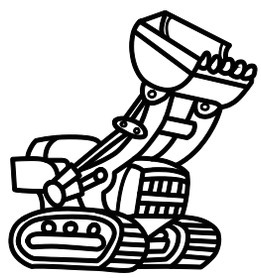
藤岡高等学校跡地取得について

青柳正敏

問 藤岡中央高校の造成費は、予算区分上、工事請負費であり、建設費の一部と思うが、建設に係わる造成費は疑義が生じるのではないか伺います。

答 藤岡中央高校の造成費は、建設に含まれる費用と理解します。造成費がどの科目で支出されたかは問題ではないと理解するが、県の予算執行状況は工事請負費という科目で支出している。造成費については協議書を尊重していきたいと考えている。





問 藤岡地区高校整備についての協議書は欠陥文書であり、文中の造成費は削除を求めるべきと思うが、協議書に記載が無い、地上物件補償の麦補償金や水路付替え工事費は、用地買収費とは異なるが、藤岡市が負担をするのか。最終司法がどう判断するか考えておくべきと思うが伺います。

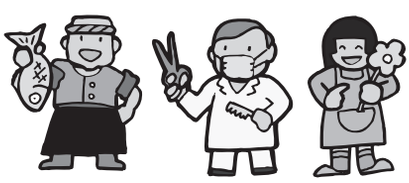
答 用地の買収費は土地に関する経費全般を考え、補償金も含まれる。造成費の削除は無理だが、協議書を最大限活用し、藤岡市に有利になる様努力する。

まちづくりについて

茂木光雄

問 中心市街地活性化基本計画の作成、及び都市計画法の一部改正に伴う藤岡市の課題について伺います。

答 平成18年8月に、中心市街地の活性化に関する法律が改正され、多様な都市機能の増進と商業等の活性化に意欲的に取り組む市町村の中心市街地活性化基本計画に対して、総理大臣が認定し、重点的に支援するものです。計画の策定については、行政、地域住民、まちづくり関連団体が相互に密接な連携のもとに取り組み、三者のコンセンサスを得て、現実性の高い計画を作りあげる必要があると考えている。国のまちづくり交付金や県のまちうち再生支援補助事業については随時検討を行っていきたい。今回の都市計画法の改正は、都市の秩序ある整備を図るための一部改正であり、1万平方メートルを超える大型店舗等の立地制限と学校や病院等の公共公益施設が開発許可の対象となる。藤岡市として、平成19年11月からの同法施行に対して、十分念頭に置いて事務を行っていきたい。



国民健康保険について

問 高額療養費の支給及び医療費増加と抑制対策、国民健康保険税の収納について伺います。

答 平成19年4月から一つの医療機関ごとの支払いを自己負担にとどめる高額療養費の現場給付の制度が導入されることになりました。限度額適用認定証の交付を受けて医療機関に提出することで窓口の支払いは自己負担額で済むようになります。医療費抑制については、健康づくり課と連携をし、人間ドックの検診を実施、疾病の早期発見、予防に努めるとともに、事後指導の必要な受診者には保健指導を行っています。高齢者には筋肉トレーニング教室を各地区で推進し、35地区、860人が週に一度参加し、健康維持を図っています。国民健康保険税を速やかに納めていただくよう、広報でするとともに、口座振替も推奨しています。また、コンビニ収納を平成20年度から導入したいと思っています。

安心できる老後について

石井竹則

問 特別養護老人ホームの待機者と相談事業の取り組みについて伺います。

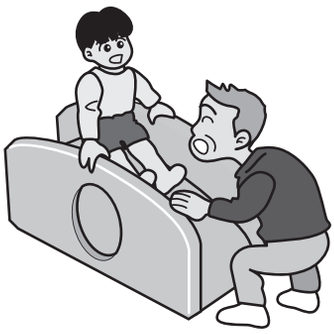
答 平成18年度の待機者は199人、緊急度の高い方が57人います。相談事業は民生委員や地域包括支援センター、在宅介護支援センターで行っています。

問 待機者に対するケア等の対応、介護支援専門員の増員について伺います。

答 現在、施設は満床状態でなかなか入所できないが、施設と連絡調整を密にして、緊急度の高い方が一日でも早く入所できるよう努めております。相談員の増員については人件費あるいは財政等を勘案し、地域包括支援センターの総合相談窓口と連携を図りながら検討していきたい。

問 特別養護老人ホームの増床について伺います。

答 県から枠がもらえれば、積極的に進めていきたい。



山間地域の過疎対策について

問 イノシシによる被害状況及び対策について伺います。

答 農作物はサトイモ、トウモロコシ、カボチャ等の食害の被害を確認。その他、水田、あぜ道等を掘り起こされる被害が発生しております。取り組みは住民の通報を受け、鳥獣保護員、猟友会が被害状況を確認し、有害鳥獣駆除隊により、わなを設置、駆除を行っています。

問 被害発生時の連絡先の周知や届け出後の迅速な対応について伺います。

答 個別にその地区にわかりやすい連絡先を周知して、対策に臨んでいきたい。

問 山間地域では過疎化が進み、5年、10年先を考えると集落としての機能や存亡の危機を感じるが、人を呼び込む等、今後の対策について伺います。

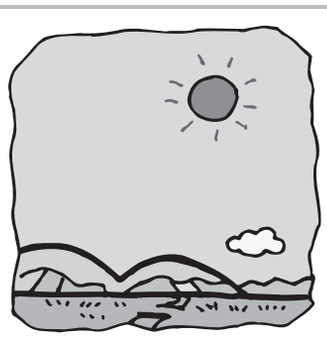
答 山間地に戻ってきてもらう、新たに入ってきてもらう為には、生活環境の整備が必要と思うので、ある一定の地域を仮定して指示を出しているところです。また、定住促進を図る中、観光面からも三波川冬桜、三波石峡の保存活用と整備拡充を図っています。

一般競争入札について

清水保三

問 一般競争入札については、総務省、又は国土交通省からも同じような通達が出されています。何故この様な通達が出されたかといえば、談合事件が各地で摘発されているからです。そこで通知の内容について伺います。

答 今回の通知の内容は、①一般競争入札の導入拡大、②総合評価方式の導入拡大、③一般競争入札及び総合評価方式の導入拡大のための条件整備、④談合等の不正行為及び発注者の関与防止の徹底、⑤ダンピング受注の防止の徹底、⑥予定価格等の適切な公表の徹底等が掲げられています。



問 年間30億円ぐらいの発注額があるわけですから、入札制度の改革で、仮りに10％ぐらいの差金が出た場合、これを福祉とか、国民健康保険税の値上げ分に回す気はありませんか、市長に答弁を願います。

答 もし、差金が出たならば、社会資本の整備に、また新たなところに当てていきたい。

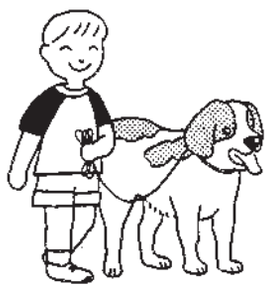
住民サービスについて

斉藤　千枝子

問　戸籍謄抄本や住民票、印鑑証明・納税証明等の各種証明書の受け取りについて、予約での休日受け取りや宅配サービスを行ってもよいと考えるが伺います。

答　先進市の事例を参考に、高齢化、公共交通機関の問題等、多方面から検討・研究していかなければならないと考えます。

問　犬・猫の飼育は、気持が和らぐなど、よい点も多くありますが、問題点も生じています。①捨てられた犬や猫の対応について②犬のふんや空き缶・ごみ、あらゆる物が捨てられているが、ポイ捨て防止条例制定の考えはないか③犬や猫が死んだ場合、庭の隅に埋めたり、動物専門の火葬場に頼む方もいます。藤岡市として希望する家庭に別途収集するという選択肢があってもよいのではないかと考えるが伺います。



答　①藤岡保健福祉事務所での野犬の収容が１０７頭。引き取りした犬が47頭で、手数料は一頭につき１０００円、生後60日以下の子犬は３００円です。引き取った猫が１５２匹で、うち捨て猫が１０２匹です。②ペットに関する法律や県条例で対応していきたい。③高齢化が進み、住宅地の変化や都市化の進展により、ペットの死体処理に苦慮する市民が増えつつあると思います。他市の状況を参考に検討していきたい。

問　内部障害者は障害者の方の30％との事ですが、目にみえない内部障害者への理解を図っていくべきと考えるが伺います。

答　内部障害を持つ方への理解を図るためにもハートプラスマークの設置について検討してまいります。

妊婦健康診査について

問　妊産婦の望ましい定期健診は14回程度と言われていますが、医療保険の対象とはなっていません。藤岡市として２回分の無料受診票を配布しているが、拡大を図るべきと考えるが伺います。

答　妊娠・出産に係る経済的不安の軽減や、安心して子どもを生み育てる環境づくりは必要かと思います。国や他市の動向を踏まえ検討していきたい。

子供を取り巻く環境と子育て支援について

三好　徹明

問　不登校、準不登校保護者家庭などに多い「養育」の相談内容について伺います。

答　両親の養育方針や母親と祖父母との養育姿勢の違いや、保護者の養育に対する自信喪失などの悩みによるものなどがあります。

問　子どもを取り巻く環境整備と親への支援について具体的な３つの提案をいたします。一・小学校の校庭の芝生化。二・身近な学校の一角や河川敷の一部に安全に触れることのできる自然体験ゾーンの設置。三・「子は親の鏡」と言われるようにサポートを必要としているのは家庭であり、人生経験豊かな民間人を中学校に１名程度配置して対応してはどうかと思うが伺います。

答　子どもが触れ合うことができる場所を考えることは必要なことであり、また校庭や河川敷ビオトープ推進は効果的な学習ができるものと考えます。平成19年度に文部科学省の指定事業として「生徒指導推進協力員」の配置を小学校２校で行います。

文化財収蔵庫について

橋本新一

問 外壁美観を損ねている原因について伺いたい。

答 ひび割れと、色違いによる補修と考えます。

問 ひび割れの原因について、外部に調査依頼をする考えはないか伺いたい。

答 依頼する予定はない。

問 外壁のひび割れの瑕疵（かし）担保期間について伺いたい。

答 重要な壁という部位にひび割れが発生しているので、10年間の瑕疵担保期間を請負業者に要求しています。

地産地消について

問 地域生産、地域消費をすることによって、食料自給率を高め、引いては日本の農業を守るということも過大評価ではなく、地産地消の果たす役割は大きいものと考えるが、その中で特に大きなウエートを占める学校給食の、現状について伺いたい。

答 主に県内産農産物を食材に使用しており、地元産農産物については試行的ではあるが、消費拡大に努めています。現在、小・中学校合わせ、７０００食以上を一度に作っており、大量の食材が必要となることや、調理時間等の関係により、機械でカットやスライスをするため、規格を揃えて納品すること、さらには価格などの課題があります。

問 我が国は、世界一の木材輸入国である。森林は水源涵養（かんよう）機能、山地災害の防止、地球温暖化の防止機能、また、自然を感じとる場としての生活環境機能など、環境保全に欠かせない重要な役割を果たしている。木を切って木材にして、また植林してという循環型でやるためには、木を使うことが大切であり、木材の地産地消を活性化させ、森林整備の促進を図り、雇用の創出や山間地に活気を取り戻すきっかけにしたいが、藤岡市における、地元産木材の利用促進について伺いたい。

答 県では県産材の利用促進に積極的に取り組んでおり、藤岡市でも地元産の木材使用を今後十分検討していきたい。

職員給与の格差是正について

堀口昌宏

問 合併に伴う一般職員の給与、身分等の取り扱いについて、合併協議の中で決定された内容について伺いたい。

答 旧鬼石町職員の任免、給与、その他、身分の取り扱いについては、藤岡市職員と不均衡が生じないよう、公正に取り扱うものとする。

問 職員の給与の格差認定について、どのようにされるのか伺いたい。

答 昇給・昇格基準の相違、人事の運用による昇格の差に伴う給与の差は、旧鬼石町職員だけでなく、藤岡市職員においても格差はある。

問 藤岡市職員総体的に格差がある事は理解できたが旧鬼石町職員と藤岡市職員の格差について、どのように調整するのか伺いたい。

答 藤岡市職員全体の問題として、給与水準の改善を図っていく中で、旧鬼石町職員及び藤岡市職員の給与水準の調整をして行きたい。

問 給与格差の調整について、どのようなスケジュールで対応するのか伺いたい。

答 行政改革の問題等いろいろあるので、それらも加味した中で、今後、十分な検討をしていきたい。

編集後記

吹く風も春めいて、新緑の季節となりました。平成19年第1回定例市議会において、平成19年度一般会計予算をはじめ12特別会計予算が可決されました。

一般質問では10人の議員から、子育て支援、人口増加策、まちづくり、安心できる老後、住民サービス等、市民生活に直結する問題について活発に質疑応答が行われました。

「議会だより」も第38号となり、市民の皆様に議会活動がより一層ご理解をいただけるような、わかりやすく読みやすい「議会だより」にしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

委員長　冬木一俊
副委員長　湯井廣志
委員　岩﨑和則
〃　串田武
〃　永井孝男
〃　阿野行男
〃　斉藤千枝子
〃　佐藤淳
〃　坂本忠幸
〃　清水保三

総務常任委員会報告 ―行政視察―

平成18年8月28日から8月30日の日程で、総務常任委員会として、北海道釧路市の市民防災センター、帯広市の森の交流館、富良野市の富良野市情報共有と市民参加のルール条例について、11名の委員による行政視察を行いました。

〈視察地選定理由〉

(1)釧路市は古くは釧路川の洪水による水害、最近は釧路沖地震、北海道東方沖地震、十勝沖地震の被害を受けるなどの経験から、特に地震の多発地域として、市民の防災に対する知識、技術、行動力を高めるため生涯学習の場として、様々な体験機能を持った施設が整備されている。

(2)帯広市の市街地を広大なグリーンベルトで囲み、都市と農村を区分した都市環境をつくる構想で、約400ヘクタールの森を「帯広の森」として整備中であり「創造の森」「自然の学校」「記念の森」「スポーツの森」の4つに分類され、森の交流館は「創造の森」にある施設で、世界の人々との交流の場となっている。

(3)富良野市では平成17年6月、情報共有と市民参加のルール条例が、富良野市議会で可決されたということで、策定までの背景や経過について、また、実施後の状況等について参考にしたい。

富良野市役所前にて

〈視察結果〉

(1)藤岡市の防災センターとは、初期目的が違うので、比較はできないが、市民が安全で安心して暮らせるよう、徹底した予防、警防、救助、救急体制の充実と、災害に強いまちづくりを目指すことは一緒であるので、あらゆる機会をとらえ啓蒙(けいもう)運動を推進するとともに、実際の体験ができるようなシステムづくりをしておくことが大切であると思われる。

(2)藤岡市が行っている国際交流事業内容と、おのずと違ってはいるが、近年、経済のグローバル化の進展や高度情報通信時代の到来など、国際社会との結びつきが強まっていることから、地域をあげて国際化の環境づくりに取り組み、世界に開かれた地域づくりを進めることが必要になっていることから見れば、藤岡市においても地域住民との交流事業など、幅広い活動を行っていかなければならないものと思われる。

(3)藤岡市においては平成18年度中の制度化ということで、6月議会で答弁されましたが、平成19年度に持ち越されており今後の推移を見守りたい。

委員長　橋本新一
副委員長　木村喜徳
委員　岩﨑和則
〃　大久保協城
〃　三好徹明
〃　佐藤淳
〃　堀口昌宏
〃　冬木一俊
〃　西井左近
〃　坂本忠幸
〃　久保信夫

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(6月上旬公開予定)をご覧下さい。

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎㉒1211内線2361)へ

議 案 等 審 議 結 果（3月定例会）

番号	件名	結果
（市長提出議案）		
報告１号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
報告２号	専決処分の報告いついて（損害賠償の額を定めることについて）	〃
第　１　号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意（全員一致）
第　２　号	三波川財産区管理会委員の選任について	〃　〃
第　３　号	三波川財産区管理会委員の選任について	〃　〃
第　４　号	三波川財産区管理会委員の選任について	〃（多数）
第　５　号	藤岡市副市長の定数を定める条例の制定について	可決　〃
第　６　号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	〃　〃
第　７　号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃（全員一致）
第　８　号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃　〃
第　９　号	藤岡市個人情報保護条例の一部改正について	〃　〃
第 10 号	藤岡市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	〃　〃
第 11 号	藤岡市情報公開・個人情報保護運営審議会条例の一部改正について	〃　〃
第 12 号	藤岡市情報公開条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 13 号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	〃　〃
第 14 号	藤岡市心身障害者福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃　〃
第 15 号	藤岡市障害者地域活動支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	〃　〃
第 16 号	藤岡市ゆったり館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	〃（多数）
第 17 号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	〃（全員一致）
第 18 号	藤岡市道路占用料徴収条例の一部改正について	〃　〃
第 19 号	藤岡市公共物使用等に関する条例の一部改正について	〃　〃
第 20 号	藤岡市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の制定について	〃　〃
第 21 号	藤岡市開発行為許可等手数料条例の制定について	〃　〃
第 22 号	藤岡市公共下水道事業審議会条例の制定について	〃　〃
第 23 号	藤岡市障害者地域活動支援センターさくらの家の指定管理者の指定について	〃　〃
第 24 号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	〃　〃
第 25 号	群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 26 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	〃　〃
第 27 号	市道路線の廃止について	〃　〃
第 28 号	市道路線の認定について	〃　〃
第 29 号	平成18年度藤岡市一般会計補正予算（第４号）	〃（多数）
第 30 号	平成18年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第２号）	〃（全員一致）
第 31 号	平成18年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算（第３号）	〃　〃
第 32 号	平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第３号）	〃　〃
第 33 号	平成18年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算（第１号）	〃　〃
第 34 号	平成18年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１号）	〃　〃
第 35 号	平成18年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第２号）	〃　〃
第 36 号	平成18年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第２号）	〃　〃
第 37 号	平成18年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第１号）	〃　〃
第 38 号	平成18年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算（第１号）	〃　〃
第 39 号	平成18年度藤岡市水道事業会計補正予算（第３号）	〃　〃
第 40 号	平成18年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第２号）	可決（全員一致）
第 41 号	平成19年度藤岡市一般会計予算	〃（多数）
第 42 号	平成19年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	〃　〃
第 43 号	平成19年度藤岡市老人保健事業特別会計予算	〃（全員一致）
第 44 号	平成19年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	〃（多数）
第 45 号	平成19年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	〃（全員一致）
第 46 号	平成19年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	〃　〃
第 47 号	平成19年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	〃（多数）
第 48 号	平成19年度藤岡市下水道事業特別会計予算	〃（全員一致）
第 49 号	平成19年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	〃　〃
第 50 号	平成19年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	〃　〃
第 51 号	平成19年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	〃　〃
第 52 号	平成19年度藤岡市水道事業会計予算	〃　〃
第 53 号	平成19年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	〃　〃
第 54 号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃　〃
第 55 号	財産の取得について	可決（全員一致）
第 56 号	土地の取得の議決事項の変更について	〃　〃
（議員提出議案）		
第　１　号	日豪ＥＰＡ交渉に関する意見書の提出について	可決（全員一致）
第　２　号	藤岡市議会委員会条例の一部改正について	〃（多数）
第　３　号	藤岡市議会会議規則の一部改正について	〃（全員一致）
第　４　号	藤岡市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	〃　〃
（選　　挙）		
第　１　号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	当選
（請　　願）		
第　１　号	日豪ＥＰＡ交渉に関する請願書	採択（全員）
第　２　号	藤岡市私立幼稚園助成に関する請願	趣旨採択（多数）
（陳　　情）		
第　１　号	難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を求める陳情	趣旨採択（多数）